

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	3	0	その日の利用児の状況に合わせて、環境設定を心がけている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	2	0	安全に、安心して過ごせるよう、職員配置の役割分担の予定を立て、確認している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	2	0	不備があれば、早急に改善するよう、管理者から施設長に報告するようにしている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	1	0	定期的に会議を行い、全職員が参画できるよう努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	保護者等の意向を受容し、改善できるよう努めている。(例:H30.10月~第二土曜日開所決定。)
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1	0	手紙での結果の報告、掲示、ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	0	0	第三者評価として、ISOの認証を受けている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1	0	内部研修の実施、外部研修に積極的に参加をしている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	アセスメントには、他職種にも参加してもらい、様々な視点から分析したうえで作成に繋げている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	5	2	今後、検討していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	他職種からの立案を積極的に取り入れプログラムを作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	毎月、月案を作成し、固定化しないよう工夫に努めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	0	0	週案(日案)を作成し、個々に応じた課題を設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	計画を作成しているが、その日の子どもたちの心身状態によって、行えない場合もある。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	朝礼後、職員間で打ち合わせができるよう時間を設けている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2	0	支援終了後の振り返りを行うことは、難しい現状であるが、翌日の朝礼後の打ち合わせにて話し合い、伝達できるよう心がけている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	記録は徹底し、子どもたちの気づきを、日々、伝え合い、職員間で周知できるよう努めている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	半年に一度のモニタリング以外にも、保護者のニーズの変化に対応し、早急に判断し、見直すこともある。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7	1	0	特に、地域交流の機会の提供面では積極的に働きかけている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	個々に応じて、必要な専門スタッフに、引率してもらい、会議に参加できるよう配慮している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	0	0	必要であれば、学校への見学希望の調整を図ったり、先生の見学希望にも対応し、情報共有しやすい関係づくりに努めている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	1	0	保護者確認のもと、「緊急対応マニュアル」を作成。全職員が周知し、対応できるよう体制を整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	2	1	事業所間では、相談支援専門員を通じて情報共有できている。当施設での利用児は、重症児であるため、就学前に通園している子が少ない現状である。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	0	0	情報提供の書類に合わせ、日々の介助に特別な配慮が必要な子どもたちに対しては、介助方法の実践も行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0	1	全職員で、研修に参加できるように努め、専門機関との連携に繋げている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	1	2	活動計画に、保育園で行う支援センターへの参加を予定し、交流する機会を設けている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8	0	0	積極的に参加し、連携に努めている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	お迎え時に伝え合えるよう配慮し、共通理解を図る。なお、連絡帳では日々の状況を知らせている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	0	3	研修にも参加し、職員間でも、日々、保護者対応について話し合っている。これからも、対応力の向上に向けて、スキルアップが必要である。。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	契約時に説明をし、その後も、問い合わせがあれば、対応している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	相談しやすい環境を設定し、他職種より適切な対応ができるよう心がけている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	1	0	年一回、開催される保護者会を通じて、連携を支援できるよう働きかけている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	保護者からのご意向は、お聞きしたが、苦情とまでは至ることが、現在ではない。苦情があった場合は、管理者から施設長に報告。迅速に対応できるよう心がけたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	「メロディーだより」にて活動概要をお知らせしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	保護者との同意書を交わしたうえで、全職員において徹底している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	連絡帳の活用、当施設のアンケート調査、お迎え時の保護者との関わり等、配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	0	0	年一回、凌雲夏まつりを開催し、地域住民を招待している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	0	0	「緊急対応マニュアル」においては、一年間に1回、保護者に見直しをしていただき、更新する。変更があった場合、早急に更新、全職員で周知する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	毎月、実施されている災害対策訓練に参加している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	年二回、行っているグループ内での研修会に参加。虐待防止委員会も設置している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	0	0	保護者に丁寧に説明、了解を得たうえで身体拘束に関する書面を作成。同意を交わす。3ヶ月に1回、定期的に内容を見直す。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3	1	食物アレルギーの有無は確認しているが、当施設では食事を提供していない。今後必要であれば、適切な対応をする。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	ヒヤリハット報告をまとめ、月1回、介護安全委員会で報告、改善に向けて検討している。